

植えないで！ふやさないで！ 特定外来生物オオハンゴンソウ

オオハンゴンソウの生態と 駆除方法を学ぶ会

広河原・花脊にまたがる上桂川の流域を中心とした地域に特定外来生物のオオハンゴンソウが繁茂しています。両地域の方から繁茂地域を教えて頂き、かなり広範な地域に分布している事が確認されました。オオハンゴンソウはもともと北アメリカ原産のものです。日本に入り適地を見つけて拡大しています。北アメリカは冷涼な気候であったので、日本においても北海道、東北、信越などの冷温帯地域での侵略的な広がりはずごく、地域の人々を悩ませています。ここ花背の地域も冷涼な気候が生育にむいたのか広がりを見せています。河原に多く生育していることから、下流域にも広がる可能性も大きいのではないかと心配されます。駆除には長くかかると思いますが、そのためにより有効な方法や、オオハンゴンソウの生態を学び駆除活動の力にしたいと思えます。今回は環境保全の研究者であり、各地でオオハンゴンソウの駆除活動も経験されておられる大澤先生からお教えいただける絶好の機会となりますので是非参加をお願いします。(コロナ禍でありますので、ON-LINE またはビデオ通信で行います。また会場は人数制限をさせていただきます)

とき： 7月12日(月) 午後2時～午後4時

ところ：花背山村都市交流の森 翠峰荘大広間
(京都市左京区花背八桝町 25)

講演 「オオハンゴンソウの生態と駆除方法」

講師：東京都立大学 大澤剛士准教授



主催：NPO 自然観察指導員京都連絡会、広河原自治振興会・花脊自治振興会・別所自治振興会
後援：京都府(予定) *この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業の助成を受けています